

福生 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

科目担当者：（小林 彩乃）（萩尾 怜奈）

使用教科書：（書Ⅱ/光村図書）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導科目・内容	表現			鑑賞	評価基準	知	思	態	配 当 時 数	
			漢	仮	仮							
1 学 期	オリエンテーション 広がる書の表現 個性豊かな漢字の姿 【知識及び技能】 ・「書道Ⅰ」で学習した書道の3分野の概要や特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の特徴、時代背景など様々な背景を理解したうえで考え書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な書の表現を積極的に鑑賞しようとする。	・オリエンテーション ・「書道Ⅰ」で学習した内容の復習 ・現代の様々な書の作品を鑑賞し、自由で個性豊かな書の魅力を感じ取る。 ・漢字の五書体の変遷と、歴史的背景を理解する。		○	○	○	【知識及び技能】 ・「書道Ⅰ」で学習した内容を復習し、理解することが出来る。 ・漢字の五書体の変遷と歴史的背景を理解することが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の特徴、時代背景など様々な背景を理解したうえで考え書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な書の表現を積極的に鑑賞しようとする。	○	○	○	6	
	篆書の学習 古典臨書 「泰山刻石」「石鼓文」「臨石鼓文」 【知識及び技能】 ・古典の概要を理解する。 ・古典の筆法を理解して書く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の作品に対して積極的に批評する。 ・古典の特徴を自ら考えそれを積極的に表現する。	・篆書について(概要、鑑賞、書道Ⅰの復習も含める) ・古典の概要(時代背景、筆者、書かれている内容、原石・拓本について) ・字形 ・筆法 ・用筆、点画の特徴 ・運筆、筆圧の変化				○	○	【知識及び技能】 ・古典の概要を理解することができる。 ・古典の筆法を理解して書くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の作品と古典を比較して正しく批評することができる。 ・他者の作品を観て適切な鑑賞をすることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の作品に対して積極的に批評することができる。 ・古典の特徴を自ら考えそれを表現することができる。	○	○	○	8
	隸書の学習 古典臨書 「乙瑛碑」「曹全碑」「石門頌」 【知識及び技能】 ・古典の概要を理解する。 ・古典の筆法を理解して書く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・隸書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の作品に対して積極的に批評する。 ・古典の特徴を自ら考えそれを積極的に表現する。	・隸書について(概要、鑑賞、書道Ⅰの復習も含める) ・古典の概要(時代背景、筆者、書かれている内容、原石・拓本について) ・字形 ・筆法 ・用筆、点画の特徴 ・運筆、筆圧の変化		○		○	○	【知識及び技能】 ・古典の概要を理解することができる。 ・古典の筆法を理解して書くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の作品と古典を比較して正しく批評することができる。 ・他者の作品を観て適切な鑑賞をすることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の作品に対して積極的に批評することができる。 ・古典の特徴を自ら考えそれを表現することができる。	○	○	○	10

